

ミズチドリ *Platanthera hologlottis* Maxim.

【評価理由】

個体数階級 2、集団数階級 2、生育環境階級 4、人為圧階級 3、固有性階級 2、総点 13。湿地性の植物で、開発や園芸目的の採取により、減少傾向が著しい。

【形態】

多年生草本。根は肥厚して水平に伸びる。茎は直立し、高さ 50~90cm になる。葉は互生して斜上し、下方の 4~6 枚は大型、葉身は線状披針形で長さ 10~20cm、幅 1~2cm、先端は鋭尖頭、基部は葉鞘となる。上部の葉は次第に小さくなる。花期は 6~7 月、花は茎の上部の長さ 10~20cm の花序に多数つき、白色で芳香があり、苞は線状披針形で花より長い。背がく片は楕円形、長さ 4~5mm、側がく片は長楕円形、長さ 6~7mm、側花弁は斜卵形で、背がく片に接してかぶと状となる。唇弁は倒卵形、長さ 6~8mm、先端は円頭、距は長さ 10~12mm で、細く下垂する。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：2 豊根（芹沢 49217, 1988-7-27）、6 設楽西部（瀧崎吉伸 21287, 2004-6-27）、11 作手（芹沢 55862, 1990-7-8）。西：5 稲武（塚本威彦 2317, 1997-6-24）、20 足助（深見・畑佐 306, 1995-7-15）。

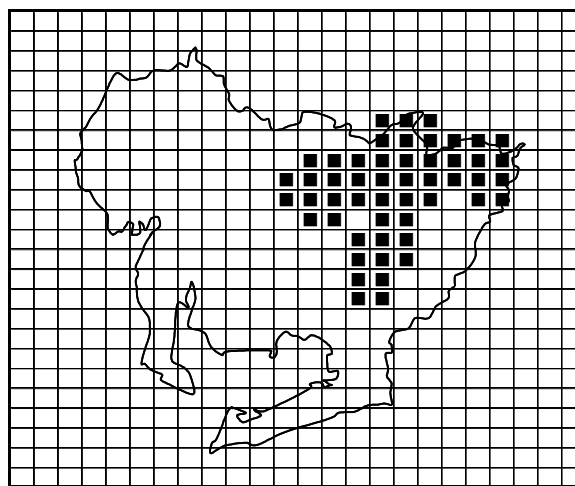
【国内の分布】

北海道、本州、四国、九州。

【世界の分布】

千島列島南部、日本、朝鮮半島、中国大陸東北部。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

山地の湿地に生育する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林				
草・岩				
湿地	○			
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

点在するが、どの場所も個体数は少ない。白い花が目立つため、園芸目的で採取されることが多い。一部の産地ではすでに絶滅した可能性がある。

【保全上の留意点】

園芸目的の採取を防止するため、分布情報の公表に際し慎重な配慮が必要である。

【特記事項】

花に芳香があり、ジャコウチドリとも呼ばれる。

【関連文献】

保草本III p.23, 平草本 I p.196, 平新版 1 p.222.